

スクールミーティング 実施概要（報告）

1. スクールミーティングの概要

実施期間：令和7年11月10日（月曜日）～令和7年11月14日（金曜日）

実施回数：5回

会場：市内5か所（各市立中学校屋内運動場）

総参加者数：154名

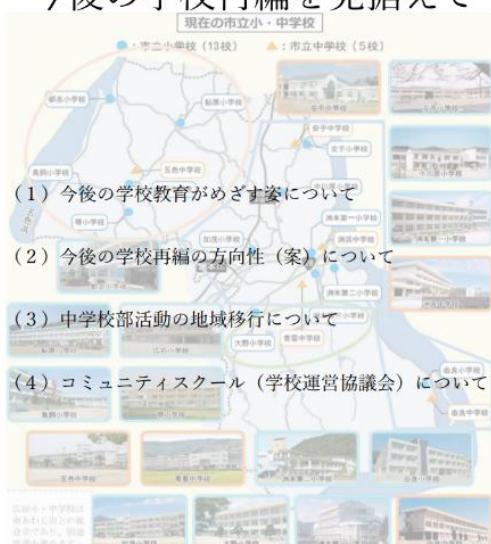
開催後のホームページアンケートへの意見等投稿件数

：20件

2. 説明内容

- (1) 今後の学校教育がめざす姿について
- (2) 今後の学校再編の方向性（案）について
- (3) 中学校部活動の地域移行について
- (4) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について

令和7年度 スクールミーティング “今後の学校再編を見据えて”



令和7年11月

洲本市教育委員会

3. 会場別の結果

① 実施日時 : 令和7年11月10日（月）19:00～21:00
 実施場所 : 五色中学校
 参加者数 : 52名

主な質問・意見等の概要

No.	内容	回答
1	児童数減少は深刻だが、学校は地域の求心力であり、拙速な統廃合は地域の崩壊と教育の質の低下を招く。地域住民の声を拾い、学校・地域を維持・発展させる方策を模索すべきである。	学校と地域を切り離して、再編を進めていくということは考えていない。学校の行事等も含め、地域とのつながりを保ったままとできるよう、今後検討していきたい。
2	統廃合する最大のメリットは何か。 	適正規模、あるいは適正配置の実現に向かうということを基本としている。学校再編によって、ある程度の規模を用意してあげることが、子どもたちの多様な成長を促す上で有効であると考えている。 賛成と反対の意見が出る中、どちらの意見も正しいが、現実としてどちらかを選ばないといけないところにあるので、最終的には今いただいている意見を含めて、決めていただく作業をお願いしていきたい。
3	広石小学校に統廃合したときは、徒歩で通学になるのか、スクールバスができるのか。また、五色中学校に上がるときはどうなるのか。	距離的なこともあるが、基本的にはスクールバスを検討している。中学校に関しては、これまでの取り組みとして自転車通学だと思うが、小中一貫とするかどうかなども含め、再編時に協議をしていきたい。
4	段階的に再編をしていく案になっているが、時期によっては校歌を2回覚えないといけないのか。令和10年で一旦統合されるよりは、一度にした方がいいと思う。	今後の出生数・児童数を見ていきながらとはなるが、一度目に再編する場合でも、都志小・鮎原小に協議に入っていただきて、将来的な統合時の校歌や校章等についても相談していきたい。

② 実施日時 : 令和7年11月11日(火) 19:00~21:00

実施場所 : 安乎中学校

参加者数 : 25名

主な質問・意見等の概要

No.	内容	回答
1	令和11年に統合するとして、令和9年度、10年度入学する子どもに関しては、安乎中学校に入学するのか、洲浜中学校にするのか、新入生を取らないのか、その辺りのイメージを教えて欲しい。また、スクールバスについてどのような形で考えているか教えてほしい。	実際は協議会での協議次第になるが、ある年度以降新入生が入学せず、最後の年度には1学年しか残らないような形にはしない方向で検討していく。移動手段については、中川原から洲浜中学校への通学にスクールバスを使っているので、同様の方式になると考えている。
2	A 五色地域の小学校の方が人数は少ないが、クラス数が6クラスになっている根拠を教えてほしい。 B 現段階の案なので、今後方向性が変わることもあるのか。 C コミュニティ・スクールのメンバーの選定方法を教えてほしい。子育て世代の意見をどのように反映するのか。また、議事内容等も公表してほしい。 D 当日参加できなかった人もいるので、スクリーンの投影資料等を公表してほしい。	A 県の基準では、14人以下の場合は複式学級編成となる。1年生が6人、2年生が7人であり、そのまま学年が上がった場合は、2学年で13人となるため、複式学級となることが想定される。全体的な人数を見ると少ないが、少人数の学年が連続すると複式学級になることから学年によって変わる。 B 無理やりこの案を進めていくことはない。 C 各学校の校長先生と相談しながら教育委員会で任命することになるが、保護者の方、これから子育てをされる方の意見をきちんと吸い上げることができるよう、校長先生と相談していく。また議事内容についても公表できるよう検討する。 D 資料については、いただいた意見等も含め、ホームページで公表していきたい。
3	A 洲本市も人口減少についての取組をしていかないといけない。ど	A いただいた意見は持ち帰り、市長部局に伝える。

	<p>のような取組をしているか。</p> <p>B 思った時間に登校することが難しい子どもについて、スクールバスは朝1本だと思うが、どのような手立てをとるのか。</p> <p>C 再編して校歌がなくなるのは寂しいとの声も聞くので、どこかで音源を公表してほしい。</p>	<p>B どのような支援体制が構築できるか検討していきたい。</p> <p>C 今後検討していきたい。</p>
4	<p>部活動の地域移行について、洲本市にしたい活動がない場合は、市をまたいでもいいのか。習い事として探した方がいいのか。</p>	<p>市をまたぐことについては、島内2市とも調整をしている。地域クラブと習い事について、自分のやりたいことを選んとするというところで、差をつける必要はない。</p>



③ 実施日時 : 令和7年11月12日（水）19:00～21:00

実施場所 : 由良中学校

参加者数 : 8名

主な質問・意見等の概要

No.	内容	回答
1	部活動の地域移行について、保護者が送迎できないときはコミュニティバスなどが出るのか。	現在検討されていると聞いている国からの支援制度ができれば別途検討することになるが、今のところ、本市単独としては、コミュニティバスの導入による送迎は考えてない。
2	部活動が地域移行すると、中体連の試合は出られなくなるのか。	基本的に大会を主催するところが出場要件を決めるので、中体連の出場要件については、中体連のホームページでの確認をお願いしたい。
3	A 学校再編の子どもの数は何を根拠にしてるのすか。 B 複式学級は、教育の質を担保するためには避けた方がいいという面では、再編をした方がいいと思う。なかなか人口を増やすのは難しいと思うが、地域に魅力があって、そこに住んでもらう方法も併せて、市長部局とも協力しながら、考えていただきたい。	A 令和7年5月1日現在の住基人口である。 B 教育DXの推進については、先進校に指定されるなど、力を入れて頑張っている。そういうところをこれからも地道に続けていき、我々は我々の立場から、ここに来たらこんな素晴らしい教育が受けられますよ、ということに頑張って取り組んでいきたい。



④ 実施日時 : 令和7年11月13日（木）19:00～21:00

実施場所 : 青雲中学校

参加者数 : 40名

主な質問・意見等の概要

No.	内容	回答
1	今日参加出来なかつた方に対して、アーカイブ配信や明日以降のライブ配信ができないか。また、スクリーンに映している資料も共有してもらえないか。	本日使用した資料は、スクリーン資料も含め、ホームページで公表を予定している。ライブ配信等については、参加者のプライバシーを保護する必要もあり、今後の検討課題としたい。
2	現在学校単位で行っている大会の運営は移行後どうなるのか。また、地域クラブでの活動は生徒の評価に反映されるのか。	大会の運営自体は、それぞれの主催者が考えていくところであり、ここではお答えしかねる。 成績については、進学等の際に、高校から照会があった場合は、これまでの学校外活動と同様に、情報を提供することは考えられる。
3	A 再編が進んでいくと地域との関係性が薄れていく可能性が十分に考えられるが、小規模校のメリットも生かしながら再編について考えてほしい。 B 統合後の学校跡地の活用方法は、避難所という役割も大きいと思うので、その辺も含めてどのように考えるのか。 C 学校編成もクラブ移行も、かなり保護者として、送り迎えであるとか負担になる部分がある。活動に参加する費用負担の部分も大きいと思う。その辺について国から	A まず再編により地域との関係性が薄れていく、ということについては我々も同様に懸念している。地域とつながってこそその学校であり、そういったところも含め、今後、各学校の個別の協議の中で、十分に尊重をしていきたい。 B 売却か、商業施設あるいは地域活性化施設にしている事例が他市もあるが、ご意見のとおり、避難所・避難地といった利用方法についても検討が必要であることから、再編が動き出せば、市長部局の意見もふまえ、検討をしていきたい。 C 国からの支援については、まだ決まっていない。支援されるようであれば、それを活用し、保護者の負担を少なくなるように検討をしていかなければならないが、一部の負担を

	の補助があったとしても、補助もずっとあるわけはないですし、そういうものを当てにしない方策を考えて動いているのか。	減らすのではなく、全体として考えていく必要がある。
4	コミュニティ・スクールの導入に期待しているが、学校運営協議会の委員はどのように選出されるか。また何人くらいを考えているのか。	校長先生と相談しながら、考えていきたい。現段階では上限 15 名を考えている。
5	現在加茂小学校は青雲中学校の校区だと思います。他の学校は洲浜中学校の校区ですよね。そうなれば、加茂小学校だけが青雲中学校に行くのか、洲浜中学校に切り替わるのか。兄弟もいるが、急に切り替わるのか、順次切り替わっていくのか。	現状の規模からしても、近々の話ではない。最終的に小学校を 3 校とはしているが、もうしばらく先のことになる。中学校に上のお子さんがおられる場合は、校区外就学という形で、上のお子さんと一緒に中学校に進むことも可能と考える。
6	A 児童数、生徒数の見込みの表があるんですけども、これは何をもとに算出されているのですか。 B 住基台帳などを活用されていると思うが、人口減少している地域についてどのような取り組みをされていますか。	A 令和 7 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳上のデータである。 B 住基人口の推移については、毎月担当課より情報が周知されており、市長部局も含めて政策立案が行われている。



⑤ 実施日時 : 令和7年11月14日（金）19:00～21:00

実施場所 : 洲浜中学校

参加者数 : 29名

主な質問・意見等の概要

No.	内容	回答
1	A 学校再編でクラス替え出来ることが理想とのことだが、それは必須なのか。また再編しないという結論に至る学校もあるのではないかと思うが、その場合計画も変わらるのか。 B 再編が前提となっているが、学童についても人数制限があるというところで、その辺は再編後どうなるのか。学童終了後、保護者がそこまで迎えにいかないといけないのか、またはスクールバスが出るのか。	A 各校の学校運営協議会による個別の協議になってくる。複式学級でも各校でそれが適当という判断をされるのであれば、その意見が尊重されるものと考える。 B スクールバスについては、中川原中学校が洲浜中学校に統合されたときにスクールバスを導入しておりますので、それを参考として相談していきたい。学童についても、子ども育て課の所管となるので、相談をしながら進めていきたい。
2	児童数が回復することができれば、その時の状況に合わせて案を考え直すことはあるのか。小学校がなくなってしまうと、地域が衰退する可能性もあると思う。	児童の保護者や未就学児がいる方からも意見を聞きながら、検討していきたい。
3	学校再編について、小学校は洲本第二小学校に統合となっているが、海に近いという点で、津波等からの避難についてどのような対応をされているのか。	洲本第二小学校では山の方まで避難する訓練等が行われている。今後の課題となるが、可能であれば、教室の配置階等も含め、建替の際に考えていきたい。



4. 開催後のホームページアンケートの結果

① 実施日時 : 令和7年11月10日（月）～令和7年11月21日（金曜日）

投稿件数 : 20件

主な質問・意見等の概要

今後の学校教育がめざす姿について		
No.	内容	回答
1	文部科学省の学習指導要領は10年前後で改訂されていますが、今後の学校教育がめざす姿も学習指導要領の改訂と足並みをそろえるのでしょうか。	洲本市教育振興基本計画（洲本市の教育の基本目標と施策の体系について示したもの）は5年毎に策定されており、現在のものは令和7年～令和11年のものです。この計画の策定時には、学習指導要領の内容を踏まえて作成された、国・県の同計画を参照し、本市の実情に応じたものにしております。
2	様々な環境変化の中、学校や事務局も先が見通せない中で、児童生徒の自立した逞しい姿を目指すビジョンがあると言うのは、保護者として安心できました。	社会の変化が速い時代であるので、今後も柔軟に対応しながら、子どもたちの“生き抜く力”を育めるよう、地域、保護者の方と連携しながら努力してまいります。
3	実際に学校で取り組んでいる様子等を紹介いただきました。	各校でオープンスクールなど保護者や地域の方が参観できる機会、HPなどの情報発信を行っていきます。
4	今回のような機会を複数回設けなければ、広く周知することはできないと思います。学校の統廃合においては、より丁寧な周知を行わなければ、市が勝手に実施したということになってしまうと思います。	今後もHP等を活用して周知してまいります。学校の再編については、今後、該当校毎に個別に説明や協議を行ってまいります。
学校再編について		
5	説明を聞かせて頂きましたが、学校再編することでのメリットは感じない。小規模、大規模それぞれにメリットがあるとの説明がありました。適正な規模との表現もありました	適正規模につきましては、国基準をふまえ、本市学校教育審議会の答申として、「各学年で複数学級を理想とする」ことが示されたものですが、「規模」の大小で子どもたちが感じる影響

	<p>が、何をもって適切と判断されているのかと聞いていると、文部科学省が定めている基準と説明がありましたが、都心部と地方で、同じ基準は当てはまらないと思います。</p> <p>行政側のメリットは大きいが、子どもたちのメリット、保護者のメリットは、かなり限定的で、正直言つて、学校再編より、その学校の良さを伸ばす取組や、地域との連携強化に取組むべきと考えますがいかがでしょうか？</p> <p>学校跡地についてですが、様々な活用例が記載されておりますが、淡路市などもそうですが、現実的には売却し商業施設にする方向ではないかと推察されます。地域で必要なのは、有事の際の避難場所であり、地域行事で活用できる場所ではないかと考えますが、いかがでしょうか？</p>	<p>や、地域とのつながり方の変化、また跡地利用の方向性などに関しましても、いただいたご意見も参考として、今後各校単位で行っていく協議や説明を通じ、検討を進めてまいります。</p>
6	<p>再編については、児童生徒数減少もあり仕方ないと理解できるが、以前のアンケートの結果に出ていた配置の希望（なるべく校区の中心に、災害の影響を受けないところに等）がなかったことにされているような編成だと感じる。</p> <p>また、人数をだいたい同じように合わせるための編成に感じられる。地図等見ると、もっと上手く割れそうな気がするので、ここまで大規模に再編するなら、移行期間は兄弟等の関係もあるため校区を選べるようにしつつ、現行の校区ではなく住所単位で学校を再編するなどしてもいい</p>	<p>現在の小学校配置をベースとして、敷地規模や施設・設備、交通網等の状況を考慮し、洲本第二小学校に集約してはどうかと考えたのですが、洲本地域の南北・東西を校区とする非常に大きな学校となりますので、実現にあたっては様々な課題に向き合っていく必要があり、いただいたご意見も参考として、今後も引き続き検討を進めてまいります。</p>

	のように感じる。	
7	<p>現在、子どもが小学校低学年ですが、少人数学級で手厚く勉強をサポートしてもらっています。</p> <p>合併後、高学年になったときに急にクラスの人数が増えて勉強についていけなくなるのではと考えています。高学年の授業の内容に合わせて、人数を半分にするなどして授業をして貰えたりしないでしょうか。</p>	<p>学習環境の激変緩和を図るための一時的な措置も含め、教職員の定員増（統合による加配や市費によるスクールアシスタント・教育支援員の採用等）による対応が考えられますが、いただいたご意見も参考として、今後各校単位で行っていく協議や説明を通じ、また学校現場とも調整しながら、検討を進めてまいります。</p>
8	<p>スクールバスのロータリーや保護者の駐車場を考えたうえで再編を考えていただきたい。行事等で「自家用車での来校はお控えください。」等の案内が無いよう交通アクセスや敷地を考えて、新校舎へ建設等の未来への投資をしていただきたい。</p>	<p>スクールバスや保護者車両の運用について、安全が確保できるよう、いただいたご意見も参考として、今後各校単位で行っていく協議や説明を通じ、検討を進めてまいります。</p>
9	<p>再編に伴う段階的な統合の中で、通学は大きなネックになってくると考えています。昨今、大都市の路線バスでも運転手がおらず、路線減少が起こっている中、島内でも人材不足は課題となってくるはずです。</p> <p>逞しい人間教育を目指すのであれば、中学生であれば自転車での通学も選択肢に入って来ますが、通学路の整備・安全確保が不十分であると感じています。</p> <p>また、自転車通学の対象制限が無いため、近所の子も自転車を使用しており、歩道混雑の一端です。生徒には、交通ルールと、いずれ社会の一員になるため「何が必要なのか」を理解する機会でもあると思います。</p>	<p>道路状況の改善要望も含め、通学路の安全対策及び児童・生徒に対する安全教育の取組について、今後も引き続き進めてまいります。</p>
10	<p>人口減少に伴い学校再編は、時間の問題であると感じている。ここまで</p>	<p>洲本地域の南北・東西を校区とする非常に大きな学校となりますので、将来</p>

	<p>統廃合せずにがんばってくれたという気持ちです。事務局が、丁寧に資料を作成し案を提案していただいたと感じます。地域への説明についても、中学校区ごとに日程を設定するなど好感が持てました。小学校の統廃合については、スクールバスを前提とした交通アクセスや防災上を考えて、洲本第二小よりも洲本バイパス沿い等に新たに校舎を建設した方が良いと考えます。</p>	<p>的な実現に向け、いただいたご意見も参考として、今後も引き続き検討を進めてまいります。</p>
11	<p>学校再編については、コミュニティ・スクール（学校運営協議会、以下CS）での熟議を経るということが分かった。</p> <p>CSは地域のさまざまな声を真摯に聞きとり、熟議を重ねて、多くの人にとって許容可能な結論が導き出せればよいと思う。</p> <p>また統廃合を先行しておこなった他の市の状況（功罪ともに）を、情報提供してくれれば、より実りある議論になるのではと期待する。</p> <p>イエスマンで固めたCSで強引に意思決定をおこなうということだけは避けなければならない。</p> <p>地域に遺恨が残る可能性があるので、慎重かつオープンな議論が行われることを強く望みます。</p>	<p>人選や意見が偏らぬよう、また議論の透明性を確保できるよう、いただいたご意見も参考として、今後各校単位で行っていく協議や説明を通じ、検討を進めてまいります。</p>
12	<p>児童・生徒の数に関わらず、学校運営のために光熱水費、修繕費、委託費など一定の経費を要すると思います。今後、人口が減少し、税収が減ることを考えると、あまりにも効率が悪い。統廃合することで本来投資</p>	<p>「行政（財政）の効率化」は、学校再編の直接の目的ではありませんが、集約していくことで、結果的には、未来を担う子どもたちにふさわしい、より充実した学習環境を実現できるのではないかと考えておりますので、引き</p>

	すべきところに投資し、健全な学校運営ができる環境を整えて欲しい。	続き検討を進めてまいります。
13	賛成 or 反対に関しては、人数も大事かもしれません、幅広い世代の声を集約することが大事だと思います。 あと、今後の人口推移と共に、学校を運営する上でどのくらいの経費（税金）が投入されているかどうかも明らかにして欲しい。	学校施設の維持管理経費については資料でお示ししておりますが、いただいたご意見も参考として、今後各校単位で行っていく協議や説明に向けて、必要となる情報を整理し、幅広い世代の合意が得られるよう、検討・調整を進めてまいります。
14	私は教職員という立場でしたが、参加されている保護者の中には、不安を抱えている方もおられたので、納得のいく形で執り行われることが必要であると感じた。（地域での協議の場はやはり必要）	いただいたご意見も参考として、今後各校単位で行っていく協議や説明を通じ、検討を進めてまいります。
15	10年も前から課題であった学校再編が中学校1校の廃止に留まっていることは、極めて不十分な結果です。その要因は、教職員の組織的抵抗、根強い反対、あるいは市長や教育長による政治的責任回避にあったと考えられます。洲本市の教育行政、ひいては市全体の改革意識の低さを象徴しています。学校再編は待ったなしの課題であり、小中一貫教育の導入を前提とした学校統合もありでしょう。向こう5年間で、学校総数を少なくとも半減させることを目標としてほしいです。学校再編は、検討ではなく、実行に移すべきです。洲本市の市政運営は、特に実行力と決断力において著しく欠けていると感じます。	地域のつながりを大切にしつつも、未来に向かう子どもたちにふさわしい教育環境として、独りよがりの考え方ではない、なるべく多くの方から支持される学校再編の実現に向けて、いただいたご意見も参考として、今後各校単位での協議や説明を進めてまいります。
16	過疎化が進む事で仕方ないことかも知れませんが再編されることにより	子どもたちの負担が過度なものとならぬよう、いただいたご意見も参考とし

	通学時間、手段の負担が子供や家庭に掛かってきます。スクールバスにしても地元の学校より早く家を出て帰りも遅くなります。子供の体力、精神的にも負担が大きくなるのではないか。どうか。	て、学校現場と調整しながら、今後各校単位で行っていく協議や説明を通じ、検討を進めてまいります。
17	五色町再編をするなら、段階を踏まず、一度にするほうが、再編する側もされる側も色々不満や悩みも一度に解決できたりしていいのではないか、昨今の物価の値上がりで体操服の購入なども問題が上がると思うがちゃんとそういった問題をきちんと決めてからミーティングしたほうがいい。スクールバスなど。何もわからないままの状態でのミーティングではあまり聞いていても？だった。	今回のスクールミーティングは、大枠をお示しさせていただき、現在の状況や今後の必要性についての認識を共有させていただこうとしたものです。個別の問題・課題に関しては、事務局ですべて決めるということはありませんので、いただいたご意見も参考として、今後も各校単位での協議や説明を通じ、検討を進めてまいります。
18	このような少ない人数での学校のイメージが全く分からぬいためまだまだ不安です。複式学級について、どんな感じなのか具体的に知りたいと思いました。また、一気に人数が増える事での学校の負担についても、そのようなことを考えたことがないため、具体的に知りたいと思いました。	複式学級は過去にもありましたが、当時は地域のご尽力もあり、将来的には解消される一時的なものでした。そこから年月が過ぎ、子どもたちはもちろん、教職員も若い方が増え、未経験となる複式学級の学校運営を試行錯誤していく一方で、一転して規模が大きくなる学校の運営も考えいかなければならず、大きな負担や困難も予想されますので、手探り状態にはなりますが、課題解決に向けて、ご支援ご協力を賜りながら進んでまいりたいと考えております。
19	学校規模の適正化は時代の変化とともに考える必要があり、少子化が進む中でこの度の学校再編は避けられないと思います。五色地区の説明会に参加したので、	第1段階の広石小学校地への統合（広石小・鳥飼小・堺小による新校開設）時には現在の広石小学校の校舎等を利用したいと考えておりますが、第2段階としての都志小・鮎原小との統合時

	<p>五色地区のことに関しての意見となります。鳥飼と堺と広石を統合したのち、新たに小学校を新設するのには反対です。学生数も少ないですし、広石小学校を改修、増築するなどして既存の学校を使うか、いずれ五色で一つの小学校になることを踏まえて五色中学校に適切な規模の小学校を新設して欲しいです。何年使うかわからない学校を新設してほしくありません。難しいとお話をされていましたが、個人的には段階を踏まずに一気に小学校を一つしていただきたいのが正直なところです。</p> <p>その方が建設や施設維持にかかる費用が少なく済みますし。老朽化が進んだ学校ではなく、エレベーターや洋式トイレなど整備された綺麗な学校で学生生活を送って欲しいです。</p>	<p>には、鮎原小の校舎等をそのまま利用するか、五色中学校地内に校舎等を新築するか、両論併記としてお示しさせていただきましたので、いただいたご意見も参考として、第1段階から第2段階に至るまでの経過措置としての校歌や体操服等の取扱も含め、今後各校単位で行っていく協議や説明を通じ、検討を進めてまいります。</p>
部活動の地域移行について		
20	<p>現在部活動を行なっている時間帯に活動するクラブ活動は、かなり少ない状況改善はかなり厳しいのではと思いますし、クラブ活動の指導者の方も仕事がありますので、活動時間帯は、平日の夜、休日の昼間などになり、週2、3回の活動が現状です。</p> <p>現状でも部活動に所属していない生徒や部活動が休みのタイミングで補習授業などを行なって学校もあると聞きます。放課後に補習授業などを行うと先生の負担が増えるとの指摘もありますが、導入を検討する事は可能でしょうか？</p> <p>子どもたちは、できた時間をうまく</p>	<p>中学生になれば、子どもたちは時間の有効な使い方を自分自身で考える力が必要だと考えています。大人が考えるべきなのは、時間の使い方を強制するのではなく、自分自身で考えることをサポートし自律する力を育むことだと考えております。</p>

	活用できず、ネット時代に渦に飲み込まれ、犯罪に巻き込まれたり、非行に向かったりする事も心配されますが、その辺の事に対する対策はお考えでしょうか？	
21	教員やその家族の負担が大きかったため、地域移行は概ね賛成である。ただ、期間も短いため、スムーズに移行できるのか、受け皿はしっかりと準備できるのか、長いスパンで見てどうなのか等の心配がある。	スムーズな移行については、保護者・地域・行政の連携協力が重要だと考えております。
22	<p>活動場所に学校施設を提供することに関して、児童生徒の安全確保の観点から懸念を抱いております。</p> <p>地域クラブは外部の大人が指導者・サポートとして参加する仕組みである一方、学校を活動場所とする場合、「地域クラブ参加者」を装う不審者が校内へ侵入しやすくなるリスクが高まる可能性があるのではないかでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設へ立ち入る場合の身分確認・受付管理・事前名簿提出など、入校者を特定可能にする仕組みはあるのか。 ・活動中は教職員または学校が指定する管理者による巡回・監視があるのか。 ・入れる扉・校舎エリアを制限し、鍵管理・監視カメラなどによるセキュリティは実施するのか。 <p>といった運用面の詳細が説明会からは判断できなかった。</p>	施設の貸出について、頂いた意見を参考にどのような方法が良いのか今後検討してまいります。
23	持続可能な取り組みになるよう、指導者への報酬等について支援をお願いいたします。	指導者への報酬等について現状では受益者負担と考えております。今後、国の支援など状況が変わりましたら改め

		て検討してまいります。
24	教員の働き方改革のうえでは、致し方ないと感じる。学校、家庭、地域が一体となって、地域移行して良かったと思えるような状況（中学生の人格形成の面も含めて）が生み出せればと思う。誰かに全部まかせるのではなく、みんなが少しづつ協力をしていく体制が必要だと思う。	ご指摘の通りです。理想の形となるよう努めてまいります。
25	大半の子が「帰宅部」に入部することになると思います。 都合よく地域に指導者は現れないでしょうし、協力してくれる人がいたとしても一部の種目に留まってしまうと思う。市が主体となって、指導者養成講座等を実施していかなければならぬのではないでしょうか。 あと、協力してくれる方に対しては、救急救命、熱中症対策、パワハラ対策等、必要な研修を市が担保していく必要があると思います。	地域クラブの確保については、できるだけ多くの方に協力いただけるよう周知してまいります。指導者研修については、現在も社会体育の指導者に実施しておりますので、地域クラブの指導者の方にも適切な研修が実施できるよう検討してまいります。
26	実際にどういった地域クラブができるのか、協力を求められていた指導者の確保の見通し等が不透明な為、聞いていてもイメージしづらかった。（今後の取組の説明や情報発信は必要）	HPなどを活用して情報発信に努めてまいります。
27	部活動の地域移行は、受益者負担と送迎という二大問題により、生徒の参加機会を奪う可能性が非常に高いと断言せざるを得ません。教育長が「月1回や2回でも」と発言された活動頻度については、強く反対します。月に1回の活動に一体どのような教育的意味があるのでしょうか。それはもはや部活動ではなく、単な	これまで中学校部活動がはたしてきた役割が大きいことは認識しています。しかし、現在の教員だけで担うかたちを継続することは難しくなっております。また、社会や子どもたちのニーズとのずれもあります。子どもたちの未来のために、一部の方に負担が偏り持続できない仕組みとならないように、地域全体で新しいものを創り出さなけ

	<p>る体験会に過ぎず、生徒の成長を促す環境とは到底言えません。このままでは、生徒の活動意欲を削ぐだけでなく、部活動が長年培ってきた教育的価値を損なうことになります。地域移行は、参加の平等性と活動の質の担保を最優先で考えるべきです。断固反対します。</p>	ればならないと考えております。
28	<p>地域移行で金銭的負担が増える事は目に見えています。国としてまだ何も決まっていないとの事ですが洲本市として支援は必要だと思います。家庭でも送迎の負担があります。子供も地域クラブになれば学校の部活より遅い時間の活動になる可能性があるので負担が大きくなります。学校再編と地域移行同時進行であればスクールバスで地域クラブへの送迎も含めるべきではないでしょうか？国が進めているかも知れませんが過疎地に適用できるか市が考えるべきだと思います。兵庫県でも神戸市のように人口が多い地域と同じような政策を取ると住人に負担が掛かってもっと過疎化が進むのではないですか？</p> <p>地域クラブの指導者に対しての定義等はしっかり出来ていますか？指導する事に責任持つてもらえるのでしょうか？その辺りも不安があります。</p>	スクールバスの活用については、今後、学校再編の進行具合、地域クラブの活動拠点や活動時間なども考慮しながら検討してまいります。地域クラブの指導者に関しては、認定条件の中で適切な要件を示していく予定です。
29	<p>学生たちは学校での部活動がなくなることをどう感じて考えているのか知りたい。</p> <p>地域移行して学校外、または五色外でしかできないのなら辞めておこ</p>	現在、地域クラブを募集している段階ですが、できるだけ各地域にできるよう呼びかけてまいります。

	<p>う、という学生が出てきそうです が、そうなると学生の運動習慣、創 作活動習慣が減少するのではないか と危惧しております。</p>	
コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について		
30	<p>家庭、地域、教職員の連携が必要不可欠ですが、コミュニティスクールで話し合われた内容及び話す内容について、各自治会、PTA、地域の会社などでも話し合いが行われる環境づくりはできているのでしょうか？</p> <p>PTAなどでは、担当の教職員が保護者の負担軽減を理由に、会議回数も少なくする、新たな活動をしないように誘導する傾向がある状況は把握されておりますでしょうか？一部の方のみで進められる内容では無いと思います。</p> <p>現状を把握し、多くの方に関わっていただける活動にすべきと考えます。</p>	<p>学校運営協議会につきましては、運営の主体が学校になりますと、ご指摘のように活発な活動ができないことが危惧されます。</p> <p>協議会の委員に自治会やPTA、地域の方々など幅広い方に参加して頂き、できるだけ協議会自体が自立自走して、学校と協議会が学校運営のためのパートナーのような関係になることが望ましいと考えています。</p>
31	<p>今回のスクールミーティングでの比重からすると小さいのですが、洲本市内において地域の方との連携は必要になってくるので、引き続きアナウンスする必要があると感じました。</p>	<p>今後も継続してアナウンスしてまいります。</p>
32	<p>C S は地域住民の多くの意見を取り入れて、慎重かつオープンに審議をしてほしいと思う。</p>	<p>できるだけ幅広い層の方の意見が反映されるような組織になるように出来たらと考えております。</p>
	<p>できるだけ、現役の子育て世代メインのメンバーにしたほうがいいと思 います。</p>	

33	来年度からせっかくコミスクを作つても、近いうちに学校再編により閉校してしまうならば、学校の持続性と革新性を考えていくことにあまり意味がないように感じる。(活性化が加速しない)	再編が行われた場合、現在の協議会で行っている活動を、再編後の新たな協議会に継続していけるようにすることで、スムーズな再編ができるのではないかと考えております。
その他 今後の学校教育のあり方について		
34	学校給食について、例えば11月13日揚げ鶏レモン漬けは1、2年生は1人1個、3~6年生は1人2個で、全然足りないという話を子どもから聞き悲しくなりました。実際給食試食会でも貧相だった記憶があります。経費高騰、家庭の経済事情等、他の自治体でも報道で話題になっているなど全国的な傾向として理由も理解できますが、子どもたちが気の毒に思いました。市役所教育委員会HPがあんしんネットで毎日各学校給食内容と量を撮影してアップする、子ども自身がタブレットで毎日給食を撮影して保護者に確認してもらうなど市民に現状公開を行うなどしていただきたいです。	給食の献立については、児童生徒が同年代の平均的な必要カロリー摂取量となるよう作成しております。当然、個人差やメニューによって足りないと感じることも多く感じることもあるとは存じております。また、ご察しの通り原材料費の高騰などがある中ですが、国や市からの補助を活用して保護者負担を増やすことなく維持しております。今後も、安心安全な給食を適切な量準備できるよう努めてまいりますのでご理解のほどよろしくお願ひいたします。
35	学校の統廃合がゴールではなく、これからスタートとなるようエネルギーを使うと思いますが前向きに検討いただきますようお願ひいたします。他市と比べて駐車場の課題が多いと感じております。スクールバスや行事等で保護者の車を停めることができるように新たな校舎の建設を検討いただきますようお願ひいたします。	適地選定や用地確保等、大きな問題であると考えますが、校舎等の新築時の検討課題とさせていただきます。
36	財政的に厳しいことはわかる。しかし、「少ない生徒を多めの先生で見	今後の協議の中で、保護者の方、地域の方と共に、子どもたちにとってどの

	<p>ていく」教育の良さ、または田舎の小さい学校の良さ（地域みんなで育てる風土）を、時代錯誤かもしれないが洲本市は追求してもよいのかもしれない。</p> <p>都市部にありがちな競争ベースの教育ではない洲本市独自の田舎風教育を目指す。</p> <p>洲本で大切に育てた子が、将来的に洲本に還っててくれるような（うちの子も洲本で育てようと思ってくれるような）教育をみんなで創っていくことが、地域をサステイナブルにすると思っています。協力は惜しません。</p>	<p>ような環境がより良いのかを検討させていただきます。</p>
37	<p>淡路島3市の中でも、学校の統廃合は最も遅れています。</p> <p>色々な声が出てくると思いますが、方針に従い、事を前に進めていってください。</p> <p>少しの遅れが、未来の世代を苦しめることにつながります。</p>	<p>いただいたご意見をふまえつつ、学校再編の実現に向け、協議等を進めてまいります。</p>
38	<p>現代社会の急速な変化に対応するため、未来を担う子どもたちの教育環境の抜本的な改善を求めます。個別最適な学びの実現、キャリア教育のさらなる充実、デジタルデバイスの積極的な活用とICT教育の推進、教員の質の向上など、これらの実現には、安定した財源と行政の強力な支援が不可欠です。既存の学校を速やかに統廃合し、ランニングコストの削減、その余剰となった施設・土地の売却によって得られる財源を確保し、次世代を担う子どもたちへの直接的な支援や新たな学びの場を構</p>	<p>未来を担う子どもたちにふさわしい学校教育を構築できるよう、いただいたご意見をふまえつつ、学校再編の実現に向け、協議等を進めてまいります。</p>

	築するための投資を強く望みます。 全ては実行力と決断力です！！	
39	学校再編や部活の地域移行は地元に 対しての愛着を失わないか気になります。 もっと過疎化が進む方向を選 んでいいでしようか？	地域のつながりを大切にしつつ、未来 に向かう子どもたちにふさわしい教育 環境とできるよう、いただいたご意見 も参考として、今後も協議等を進めて まいります。